

## いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新に向けた取り組みについて助成金の交付と専門家の派遣等のソフト支援によって総合的に支援します。

公募  
11/2  
ま

### 事業メニュー

#### 〈起業・新事業活動支援事業〉

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等～

【対象者】・創業する者

- ・中小企業者(法人または個人事業者)
- ・特定非営利活動法人(NPO法人)、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)

##### ①地域資源活用枠

「地域資源」(農林水産物、鉱工業品またはその生産技術、文化財や温泉等の観光資源など)を活用する事業

【助成率】1/2

(大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸振興局管内の者が同地域で取組む事業は2/3)

【助成限度額】200万円【助成期間】最長3年以内(原則単年度)

##### ②起業・経営革新枠

創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業または経営革新計画の承認を受けた事業

【助成率】1/2 【助成限度額】500万円

【助成期間】最長3年以内(原則単年度)

#### 〈中心市街地活性化支援事業〉

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発または企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

【対象者】・中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者

- ・小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者(法人または個人事業者)
- ・商工会、商工会議所等
- ・知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO法人)

【助成率】9/10

(店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)の算式によって算出された額の9/10」)

【助成限度額】200万円

【助成期間】最長3年以内(原則単年度)

### 第5回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択企業決定

第5回いわて希望ファンド地域活性化事業には、17件の申し込みがありました。

その内訳は、起業・新事業活動支援事業の地域資源活用枠が4件、経営革新枠4件、中心市街地活性化支援事業が3件、でした。

8月5日に開催された外部委員における審査会において、下記11件の事業が採択されました。

#### 【採択案件】

No	事業種類	企業名	所在地	事業概要
1	地域資源	株式会社プロ農夢花巻	花巻市	低発泡雑穀新商品の開発と販路開拓
2		株式会社浦嶋商店	大船渡市	地元海産物を活用した冷燻による新企画加工品開発及び製造販売
3		合資会社シャイン	大船渡市	酵素処理したイサダによる食品開発事業
4		有限会社木村商店	山田町	地元海産物、岩手県産低アミロース米「ゆきおとめ」を活用した新商品開発・製造販売
5	経営革新	有限会社電設アーツ	盛岡市	ペアガラス製造における断熱ガスを自動充填する装置の開発
6		株式会社ホップス	盛岡市	複数事業者共同で運営できる「産直システム」のセミオーダー型パッケージソフトの販路拡大
7		大和造園土木株式会社	花巻市	無農薬有機栽培によるブルーベリー摘取園の開設と新商品開発
8		有限会社丸已建設	一関市	地中熱を活用した岩手(寒冷地)発の家族と地球が長生きできる住宅の開発と販路拡大
9	中心市街地活性化	盛岡駅前商店街振興組合	盛岡市	「開運」をキーワードとした商店街ブランド構築事業
10		株式会社木村設計A・T	花巻市	花巻中心市街地の賢治作品心象スケッチポイント観光・文化資源活用調査事業
11		雫石商工会	雫石町	雫石よしやれ通り商店街の活動拠点施設からの発信による中心市街地にぎわい再生

# 商工連携ファンド公募中です!!

募  
中  
24(火)  
で

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携（農商工等連携）を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業者または経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体を支援します。

#### 対象者

- ・ 県内の中小企業者と農林漁業者の連携体  
⇒ 農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体（農協、森林組合、漁協、連合会も可）

- ・ 中小企業者以外で、県内の特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体

注）申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・補助金の受領等を行う

#### 助成対象経費

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

#### 助成率

1/2以内（県北・沿岸地区は2/3以内）

#### 助成限度額

500万円

#### 助成期間

最長3年以内（原則単年度）

### 農商工連携の事例（平成20年度中小企業長官賞受賞）

青森県下北地方の低アミロース米「ゆきのはな」と地元産魚介類を使った新食感の冷凍押し寿司の開発、製造及び販売

#### 中小企業者：株式会社メール（八戸市）

地元八戸の海産物を活かした「冷凍押し寿司」を開発していたが、冷凍するとコメがボロボロ・パサパサになり苦戦

#### 新商品開発！



#### 農林漁業者：はまなす農協

ヤマセの影響が強い地域のため、青森県の品種改良による寒冷地に適した低アミロース米「ゆきのはな」の栽培に取り組む。冷凍すると甘味が増し、解凍すると粘りが増す「ゆきのはな」を開発

#### 連携

地元の鮭、鯖等特産品を原料とし、冷凍に適した「ゆきのはな」の適度なねばり、つや、冷めても軟らかくほろほろになりにくいといった特徴を活かした解凍により出来立ての食感を味わえる「冷凍押し寿司」の開発

### 農商工連携の基本的要件

#### 【1.有機的連携】 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること

- －「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します
- －「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的に有効に用いられていることを指します。

#### 【2.新商品の開発等】 事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産又は需要の開拓が実現すること

- －「新商品若しくは新役務（サービス）」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品又は役務であることが必要である。

## 第2回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択企業決定

いわて農商工連携ファンド地域活性化事業の第2回公募では3件の申し込みがありました。  
8月5日開催された外部委員における審査委員会において、下記2件の事業が採択されました。

#### 【採択案件】

No	事業種類	代表企業	所在地	事業概要
1	起業・新事業	株式会社浅沼醤油店・花菜油の会	盛岡市・一関市	無農薬栽培のエゴマ・ナタネでの新商品開発と食材産地の情報発信
2		昭栄建設株式会社・株式会社春の隣	盛岡市	「いわて栗石わさび」ブランド確立と「生工販一体型」事業体制による「わさび文化」の創造

#### 手続きの流れ

- ①公募→②応募（助成金交付要望書提出）→③事業計画ヒアリング→④審査委員会（対象事業の決定）  
→⑤採択通知→⑥助成金交付申請書提出→⑦助成金交付決定→⑧交付決定通知→⑨事業実施（着手）→⑩フォローアップ  
→⑪実施事業の確認→⑫助成金の支払い（※原則事業完了後の精算払い）→⑬実施事業の評価

#### お問い合わせ先

（財）いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ  
いわて希望ファンド 担当／菊池修二  
いわて農商工連携ファンド 担当／漆田英一  
TEL.019-631-3827 FAX.019-631-3830 E-mail:joho@joho-iwate.or.jp